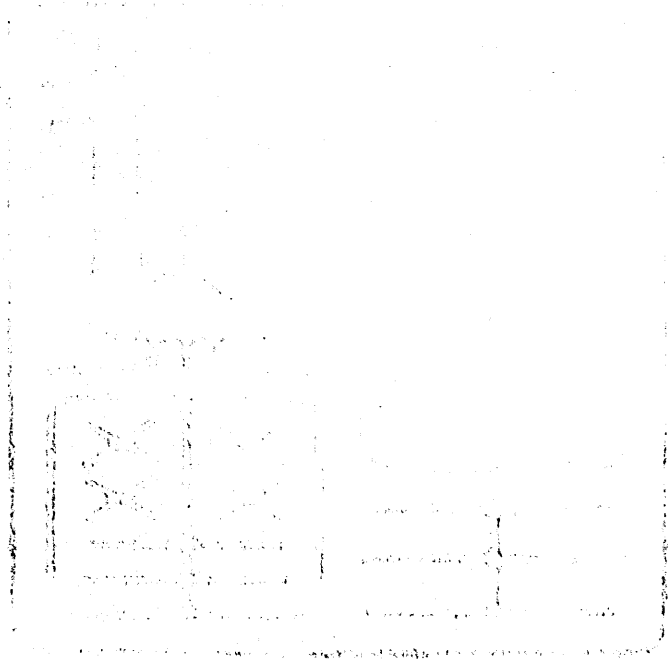
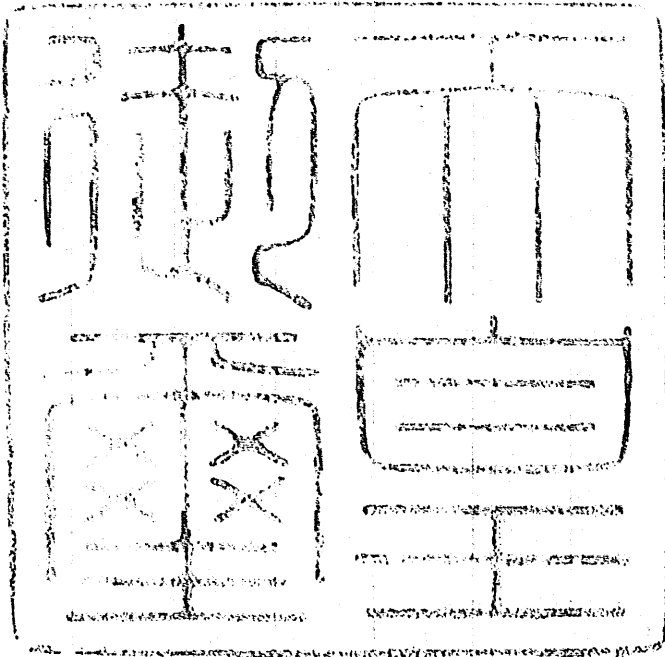


法律第六号



朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル朝鮮醫院及
濟生院特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公
布セシム

睦仁



明治四十五年三月二十七日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望
大藏大臣 山本達雄

法律第六號

朝鮮醫院及濟生院特別會計法

第一條 朝鮮總督府醫院、朝鮮總督府濟生院ノ會計ハ之ヲ通シテ一ノ特別會計トシ資金ヲ有シ政府支出金、資金ヨリ生スル收入、院收入、寄附金具、他ノ收入ヲ以テ具ノ歳出ニ充ツ

第二條 前條ノ政府支出金ハ年額金四拾五萬圓ヲ限トシ毎年度豫算ノ定ム

ル所ニ從ヒ朝鮮總督府特別會計ヨリ
之ヲ繰入ルヘシ

第三條 資金ハ政府ヨリ交付シ又ハ他
ヨリ寄附シタル財産及歳入殘餘ヨリ
成ル

第四條 資金ハ之ヲ支消スルコトヲ得
ス但シ用途ヲ指定シタル資金ハ用途
指定者ノ同意ヲ得テ元金ヲ使用スル
コトヲ得

第五條 職員ノ俸給、諸給、旅費、事務所費、

診療、醫育、教養及救療ニ関スル諸費、修
繕費、雜支出金、其ノ他寄附者ノ指定シ
タル費途ヲ以テ本會計ノ歳出トス

第六條 政府ハ毎年度本會計ノ歳入歳
出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト
共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第七條 毎年度豫算ニハ避クハカラサ
ル豫算ノ不足ヲ補フ爲豫備費ヲ設ク
ハシ

第八條 寄附財産ニシテ特ニ用途ヲ指

定シタルモノハ其ノ條件ニ從ヒ之ヲ
使用スヘシ

第九條 本會計ニ於テ外國ヨリ直接ニ
圖書機械標本藥品及實驗用材料ノ買
入ヲ爲ス場合ニハ前金拂ヲ爲スコト
ヲ得

第十條 本會計ノ收入支出ニ關スル規
程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十五年度ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際朝鮮總督府醫院及朝鮮總
督府道憲醫院ニ屬スル財産ハ總テ之
ヲ本會計ノ資金ニ編入スヘシ